

共助会ニュース

共助会ホームページ



【発行元】公益社団法人 千葉県社会福祉事業共助会 〒260-0026 千葉市中央区千葉港 4-5
☎043-245-1729 FAX043-245-9047 ✉jimukyoku@kyoujokai.or.jp URL <https://kyoujokai.or.jp/>

会長挨拶

会員の皆様には、日頃より共助会の運営に温かいご理解とご協力を賜り、心よりお礼申し上げます。

令和8年度の事業計画及び予算につきましては、3月の理事会においてご承認をいただき新年度を迎えることとなりました。本年度も皆様の安心につながる事業運営に努めてまいります。

令和8年度の事業計画の内容ですが、次ページに記載のとおりです。退職共済システムにつきましては、昨年7月より運用を開始し、事務の電子化を進めてまいりました。導入後、徐々にシステムにより対応できる部分を拡大してきましたが、皆様のご協力のおかげで概ね順調に進んでおります。今後もより使いやすいシステムとなるよう工夫を重ね、安定的な運用と定着に努めてまいります。

資金運用につきましては、昨年度も国内外の経済情勢に大きく影響を受け、動きの多い一年でした。例えば、米国ではトランプ大統領による関税政策の動きがあり、市場もその影響を注視する一年となりました。また、これまでの利上げ局面から利下げへ転じるなど、金融環境にも変化が見られました。国内でも金利の引き上げや株価の大きな動きがあり、日経平均も5万円を大きく超える場面もみられました。

こうした変動のある環境下ではありましたが、株式市場の堅調な推移等を背景に、昨年度の運用実績は30億円を超える規模となっております。また、充足率も100%を超える水準で推移しており、財政基盤は概ね安定した状態を保っております。

もっとも、経済環境は常に変動するものです。共助会といたしましては、令和8年度も皆様からお預かりしている大切な掛金を大きく毀損することのないよう、複数の金融機関や専門家の意見も参考にしつつ資産運用委員会でご議論いただき、分散を基本とした堅実な運用に努めてまいります。

研修につきましては、昨年度は電子システムの導入年度であったことから説明会という形で実施をいたしましたが、今年度も皆様のお役に立てる研修を実施できればと考えています。また、こうした研修を通じて、会員同士が情報交換をしたり、つながりを深める場にもなればと考えています。

福利厚生事業につきましては、昨年同様、観劇、歌舞伎鑑賞、ミュージカル鑑賞などを企画しております。ご家族の皆様とともに、いづらかでも日頃の疲れを癒し、リフレッシュの機会になればうれしく思います。

令和8年度も共助会は会員の皆様が、安心して働き続けられるよう、そして退職後もしっかりとした生活の見通しを持てるよう取り組んでまいりますので、どうぞ今後ともご理解・ご協力のほどよろしくお願いいたします。



共助会会長 いのうえ 井上 みねお 峰夫

令和8年度事業計画

1 「退職共済システム（電子申請）」の 安定的な運用と定着

令和7年7月より、「退職共済システム（電子申請）」を導入しました。開始直後から施設の皆様にご協力いただき、現在も順調に稼働しております。また、「電子申請」で対応できる項目も順次拡大しており、紙ベースでのデータ授受に比べ施設の皆様の業務効率化にかなり貢献できたものと考えております。郵送コストの削減にも大きく寄与していると思われまます。

令和8年度も引き続きシステムの安定的な運用と定着に努めてまいります。

2 安定した資金運用

共助会が退職共済事業を実施していくためには、安定的な資金運用が重要課題になります。共助会は、令和5年度末に実施した「ALM分析」に基づき、期待収益率を1.75%から3.50%へ見直すとともに、令和6年度の総会承認を経て「ポートフォリオ」を変更しました。特に期待リターンを高めるため、内外株式の比率の増加（12%→40%）をご提案、ご承認いただきましたが、令和7年度は国内外とも株式市場が好調。結果、この変更が功を奏し、令和7年度は30億円以上の収益（収益率10%超）で着地する見込みです。現在、充足率も100%をクリアしております。

令和8年度も市場環境を注視しながら、コンサルタント会社や委託運用機関等の専門家の助言を受け、皆様からお預かりしている掛金を大きく毀損しないよう慎重に運用を進めてまいります。社会

環境の変化に伴い、共助会を取り巻く状況も変化していくと思われまます。実際、今回と前回のALM分析では、加入者の推移、退職者の予想数等が大きく変化しています。今後も定期的にALM分析を実施し、総会を通して、必要に応じポートフォリオの見直し等を会員の皆様にご相談させていただきたいと思ひます。

3 研修事業

令和7年度は、7月に「退職共済システム(電子申請)」を導入しました。新システムの導入に伴い、徐々に皆様にお集まりいただく集合研修を3回開催しましたが、お陰様でいずれもほぼ満席でした。研修では一部システムトラブル等もありご迷惑をおかけしましたが、各施設の担当者の皆様のご協力により、大変有意義な研修を実施することができました。ありがとうございました。

一方で、研修を実施する際に感染症への懸念が完全に払拭されたわけではありません。令和8年度は、今回のような集合研修に限らず、Web会議等の様々なツールを駆使しながら、皆様のお役に立てる研修を開催したいと考えております。さらに、研修を通して、各施設の従業者の定着率向上や、活気あふれる組織・団体づくりの一助となれば幸いです。

4 福利厚生事業の実施

社会福祉事業に従事する皆様は、日々、忙しい毎日をお過ごしのことと思ひます。共助会は、そのような皆様が多々の仕事を離れ、ご家族とともにリフレッシュの時間を過ごせるよう、これまで以上に会員交流事業の充実にも努めてまいりたいと思ひます。

令和8年度も引き続き、観劇、歌舞伎、ミュージカル鑑賞等を企画しています。ご期待ください。

公益目的事業

福祉に係る法人活動の促進と充実を図るための事業です。

1. 掛金収益	2,900,000,000 円	② 横浜八景島及びFUJIYAMA倶楽部の所有する施設の割引券の発行
平均加入者見込み数（年間）	22,300 人	③ 関係レジャー施設の割引利用券の配布
平均掛金額（1人当たり1ヶ月）	10,840 円	6. ホームページの活用並びに機関紙「共助会ニュース」の発行
2. 退職給付金の支給等	2,500,000,000 円	共助会事業の理解と普及促進のため、ホームページの活用と機関紙の発行を行っています。「共助会ニュース」は年2回発行。なお、前年度より、施設への紙ベースの配布を中止し、ホームページにて閲覧いただくように変更しております。
退職一時金（1人当たり平均）	1,042,000 円	7. 関東ブロック民間社会福祉従事者共済制度情報連絡会への参加
退職金支給人数	2,400 人	群馬県が幹事県になりますが、令和7年度に続きZoomを利用したオンライン会議が予定されています。
3. 退職年金の支給	5,280,000 円	8. 研修事業の実施
4. 生活資金の貸付	3,000,000 円	集合研修や Web 研修等、様々な研修を計画していきます。
平均貸付額	500,000 円	
貸付件数	6 件	
利率	2%	
5. 福利厚生事業の利用契約等		
① 福利厚生センター事業の実施		
共助会は、福利厚生センター（ソウェルクラブ）との委託契約に基づき、加入促進事業と会員交流事業を実施しています。		

計画ならびに予算

会員相互扶助等事業

慶弔・火災見舞金の支給や長年社会福祉事業に貢献したことを顕彰し、その労苦に報いるための制度です。

1. 慶弔金等の支給

- (1) 慶祝金(結婚) 20,000円 400件 8,000,000円
- (2) 慶祝金(出産) 10,000円 550件 5,500,000円
- (3) 弔慰金 50,000円 15件 750,000円
- (4) 火災見舞金 最低限を見込みます。



2. 長期在籍者顕彰事業

共助会への掛金納付期間が25年を迎える方を対象とし、長期在籍会員顕彰式を開催する予定です。
(顕彰状の授与ならびに記念品の贈呈)

法人事業

総会等の各種会議の開催、共助会事務局運営全般のことです。

1. 総会の開催 1回

令和7年度事業報告・収支決算書について

2. 役員会(理事及び監事)の開催 3回

3. 監事会の開催 2回

決算監査、中間監査を各1回

4. 委員会の開催 2回



その他

資金調達及び設備投資の見込みについて

<資金調達の見込み>

当事業年度中における資金調達の予定はありません。

<設備投資の見込み>

無形固定資産ソフトウェア
(退職共済システム改修)
3,000,000円



令和8年度 収支予算書総括表

(令和8年4月1日から令和9年3月31日まで)

【収入の部】

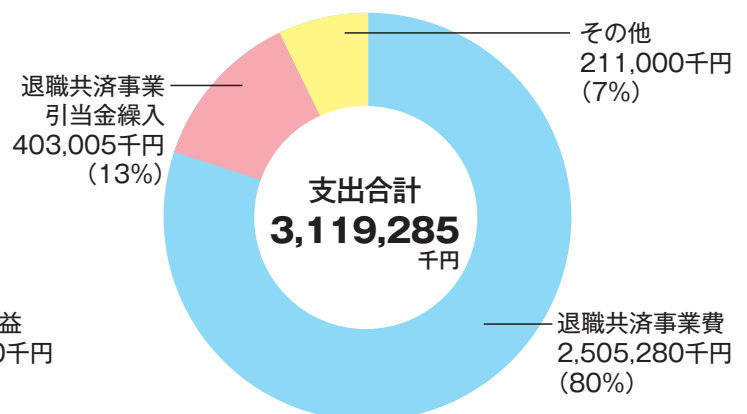
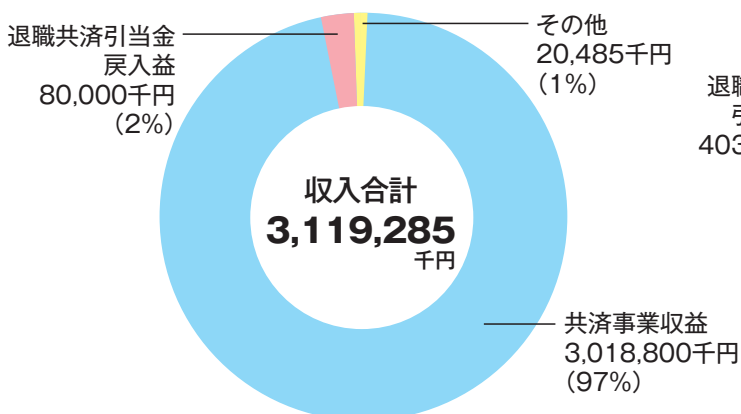
(単位:千円)

科目	公益目的	会員相互	法人	合計
基本財産運用益	0	0	0	0
特定資産運用益	0	0	3,735	3,735
共済事業収益	2,955,000	40,600	23,200	3,018,800
貸付金利息収益	1,000	0	0	1,000
業務委託収益	1,700	0	0	1,700
交流事業収益	12,000	0	0	12,000
退職共済引当金戻入益	80,000	0	0	80,000
雑収益	50	0	2,000	2,050
当期収入合計	3,049,750	40,600	28,935	3,119,285

【支出の部】

(単位:千円)

科目	公益目的	会員相互	法人	合計
退職共済事業費	2,505,280	0	0	2,505,280
慶弔金事業費	0	14,350	0	14,350
長期在籍会員顕彰事業費	0	9,480	0	9,480
広報普及事業費	620	0	0	620
研修事業費	480	0	0	480
福利厚生事業費	13,810	0	0	13,810
退職共済事業引当金繰入	403,005	0	0	403,005
管理費	134,785	2,725	34,750	172,260
当期支出合計	3,057,980	26,555	34,750	3,119,285
当期収支差額	△ 8,230	14,045	△ 5,815	0



福利厚生

～ 福祉の仕事の要は「人」です～

福利厚生センター（ソウェルクラブ）は、福祉の職場で働く人々の福利厚生を支援している団体です。共助会は「ソウェルクラブ千葉」として業務の一部を受託しており、社会福祉施設に従事している方が安心して働けるようサポートさせていただきます。今回は、日々の健康づくりやリフレッシュ、休日の楽しみに役立つ、活用しやすい3つのサービスをご紹介します。



健康管理に



生活習慣病予防健診費用助成

年に一度の健康チェックを後押しする助成制度です。生活習慣病予防健診の受診費用を、**最大3,800円**まで助成します。

《ポイント》

- 生活習慣病予防健診費用助成（最大3,800円）
- こころとからだの電話健康相談（無料）
- 健康生活用品給付（毎年1回）
- スポーツクラブ（会員特別価格）



日々の気分転換に



リフレッシュ

心身を整え、毎日をいきいきと過ごすためのサービスです。指定保養所や会員交流事業など、余暇の充実につながる事業を利用できます。

《ポイント》

- クラブ、サークル活動助成（1人1,000円）
- 指定保養所（優待割引、会員は1泊2,500円引）
- 会員制リゾート施設（法人会員料金適用）
- 会員交流事業（食事会や観劇など）



休日の楽しみに



クラブオフ

お出かけや旅行、外食などに幅広く活用できる優待サービスです。国内外20万件以上の施設やサービスを会員優待料金で利用できます。



その他

- 結婚・出産などのお祝品
- 各種団体保険（生命保険・損害保険）などの生活サポート
- 資格取得記念品（5,000円相当）などのスキルアップ助成
- 各種見舞金

など、幅広いサービスをご用意しています。詳しくは、ソウェルクラブのホームページをご覧ください。



福利厚生センター
ホームページ

年会費

第1種会員 **10,000円／年**（全員が対象、全サービスが利用可能）

第2種会員 **5,000円／年**（非常勤のみ加入可）

●加入のお申込み、福利厚生に関するご相談は

0120-292-711

社会福祉法人福利厚生センター（ソウェルクラブ）まで

資産運用報告

令和8年1月現在 資産運用状況

（単位：円）

資産	取得価額	時価	評価損益
国内債券	1,407,929,179	1,290,791,666	▲117,137,513
国内株式	1,101,908,503	1,543,046,536	441,138,033
外国債券	12,756,875,184	12,924,340,984	167,465,800
外国株式	8,761,274,475	12,227,933,941	3,466,659,466
オルタナティブ	3,250,479,895	3,926,587,031	676,107,136
その他	1,631,435,532	1,631,210,409	▲225,123
資産合計	28,909,902,768	33,543,910,567	4,634,007,799

時価総額 33,543,910,567

要支給額 31,522,467,544

充足率 = $\frac{\text{運用資産の時価総額}}{\text{要支給額}}$

106%

今年2月28日の米国及びイスラエルによるイランへの軍事攻撃により、各国の通商環境及び金融市場は大きな混乱が生じています。特にこの攻撃により、ホルムズ海峡が事実上封鎖されたことは、世界の原油・LNG輸送に深刻な影響を及ぼしています。

これは日本も例外ではなく、原油供給の約9割を中東に依存する現状から、ガソリン・電気・ガス代の急騰やGDPの低下など、経済や生活に多大なる影響を及ぼすことが想定されます。

そのような中、共助会の資産運用は、昨今の株高の影響もあり、1月末現在では、前年度末比36億77百万円（収益率13.1%）の運用益と引き続き好調を維持しています。また、充足率も106%と過去最高かつ7ヶ月連続で100%以上を維持しております。

ただし、今回のイラン攻撃が、内外諸国に与える影響は計り知れません。事務局では、今後も皆様からお預かりしている大切な「資産」を大きく毀損することが無いように慎重な運用を心掛けてまいります。